

DMY ASIA EXHIBITION TOUR 2008

18 selected Berlin designers in Taiwan, Japan and Korea
2008年10月4日～12月7日



作品解説

1、アダム&ハルボルス(Adam und Harborth)

<http://www.adamundharborth.de>

プロダクトデザイン: ノーツタワー“バベル”(notes tower "Babel")

混沌が途方もない比率に達した時、このバベルの塔はその混沌を整頓する。あなたの卓上の消滅へと運命づけられているもの、例えば切符、招待状、レシート、商品保証書、苦情の手紙等、これらすべては“バベル”の5つのスロットのうち1つの安全な場所へと滑り落ちる。“バベル”はあなたの乱雑さを、華麗な幾何学模様へと転換する。あなたの机を整理する事は包括性が必要な事ではなくなった。整然さは魅力的な事ではなくなったのだ!

この作品は、シュヴァルツヴァルドの端にて、その土地の木材から加工されている。

解説: ジーベンザッヘン、ミュンヘン(siebensachen, München)

<http://www.siebensachen.com>

2、アンネ・ボエニッシュ(エルステレールスター)(Anne Boenisch (erstererster))

<http://www.erstererster.de>

プロダクトデザイン: プロトタイプ照明“フレイク”(“Flake”)

この羽のように軽やかな照明“フレイク”は、発砲スチロールの構造と光を透かす性質とに戯れ、通常の使用法に背き、新しい空間のコンテクストへと導く。

光と素材の戯れは、光を付けた状態の時、有機的な発砲スチロールのフレイク構造であなたを魅了する。それは照明“フレイク”の稜のある形体を通じて起こる。そしてそこで生じている稜線上では、光が安定して遮られ、この陰もまた魅了の一端を担う。発砲スチロールの生産技術からインスピレーションを受けた“フレイク”は、一般的な使用法に反して新たな関心領域へと移行する。

3、ブレス(Bless)

<http://www.bless-service.de>

イネス・カーグ、デジレ・ハイス(Ines Kaag, Desiree Heiss)

<http://www.bless-service.de>

プロダクト/ファッションデザイン: カー・カバー“No.35 Automatica”

ブレス“No.35

Automatica”は、パリ/ベルリンを拠点とするデザインデュオ、デジレ・ハイスとイネス・カーグの最新プロジェクトである。この自動車アイテムはイギリスのインターセクション・マガジンとのコラボレーションに、そのインスピレーションの源の端を発する。その雑誌はブレスに他のデザイナーに混じり車のカバーを作って欲しいと依頼した。ブレス“No.35

Automatica”カー・カバーとカスタマイズ・ラジコンカーはベルリンで今年5月に正式に発表され、同時にインターセクション・マガジンに組み込まれる形で新しいブレス・ルックブックが発売された。

カー・カバーのアイデアは只単にヘッドライトから排気マフラーを覆う為のものではなく、お気に入りの車のフォルムを自室にまで持ち込み、ソファーとしてそれに座ったり寝たりする事が可能である。

ラジコンカーはカスタマイズされ、華やかに扮装されている。そしてそこに新たな使用オプションが見て取れる。“プランター”(“Planter”)は鉢植えの花を提供し、“ブラック・ロケット”(“Black

Rocket”)はあなたのiPodをラジコンカーに装着する事が出来る。カーレースにマッチする曲を演奏出来るのだ。“サーバンサー”(“Servancer”)は、クッキー、雑誌、あるいは鍵を金または銀のお盆に載せてあなたの元にお届けする。

4、エレガント・エンベリッシュメント(Elegant Embellishments)

アリソン・ドリング、ダニエル・シュバーク(Allison Dring, Daniel Schwaag)

<http://www.elegantembellishments.net>

プロダクト／建築デザイン: 建築パネル“Prosolve370e”

“Prosolve370e”はファサードに取り付け可能な、空気の汚染を効果的に減少させる、装飾用建築タイルである。既存のファサードへの補修・変更として、そしてさらに、このタイルは目下の環境へのより良い返答として、“ビルを調和”させる。

5、ハイケ・ブーフヘルダー(Heike Buchfelder)

<http://www.pluma-cubic.com>

照明デザイン: フロア照明“Pluma Cubic R2”

“PlumaCubic”は、まばゆいオブジェクトを創り出す為に融合された、自然の羽根と明快で幾何学的なフォルムの共生である。この光のオブジェクトは、「自然に浮遊する美しさ」と「硬度、永遠の厳格さ、それぞれ個々の構成要素」という2つの相反する面を照らし出す。

6、.ini

<http://www.inimalism.com>

プロダクトデザイン: 大人用ミニバイク“.ini bike”この“.ini

bike”は大人のユーザーの為に巨大化された木製三輪車である。ユーザーは快適なポジションで運転し、自身の子供の頃を思い起こす。“ini

bike”の運転中はただ楽しんで、喜びを目覚めさせて！この運転は愉快的な経験となる。

7、Jpech.net

<http://www.jpech.net>

音響／映像インスタレーション

2001年以来、ベルリンのVJ集団である“JPECH”は“スリー・コード・ヴィジュアル”ライブ(“3-chord visuals”live)を創作した。それはヨーロッパやアジアのいたる都市で開催されるクラブ、パーティー、展示会やファッションショーへのオブジェクトとインスタレーション形態の為に創作された。

“JPECH”はユニークな方法で、ペインティング・写真・グラフィックからアニメーション、そして光の使用にまで及ぶ、技法の幅広い配列を組み合わせる。

8、ユディス・セン(Judith Seng)

<http://www.judithseng.de>

プロダクトデザイン: ボウル“フィンガーボウル”(“Fingerbowl”)

個人の指紋を意図的に誰かにあげるとするのは、信頼と共感のひとつの要素である。贈り物に姿を変えることで、それは美学的振る舞いのなかに政治的問題を反映している。

製造者: “インダストリアル”、ミラノ(Industreal ® all rights reserved)

9、ユリアン・アペリウス (Julian Appelius)

<http://www.julianappelius.de>

プロダクトデザイン: テーブル/ベットサイド照明“レフト&ライト” (“Left or Right”)

テーブルと棚の付いた壁掛け照明は何時でも、何処にでもフィットする。ベッドサイド照明として意図されたこの照明は、右または左という異なる形によってベッドを形作る。壁に掛けられると、それは照明器具と棚として機能する。“レフト&ライト”はほぼ何処にでもフィットする。廊下では鍵や携帯を、お風呂場では歯磨きコップ、キッチンではスパイスを置くために使用可能である。机の上では全てのタイプの道具棚として機能し、ショップではディスプレイ上の製品にぴたりと光を当てる。

素材: ステンレス 1,25 mm、電気コード、E14/40ワット、透明コード 200 cm

サイズ: 32 x 19 x 16 cm

右または左のタイプ、白/黒/赤の電気コードがございます。

10、キンゾ・アーキテクチャー (Kinzo Architecture)

クリス・ミッドleton、マルティン・ヤコブス、カリム・エル・イシュマビ
(Chris Middleton, Martin Jacobs, Karim El-Ishmawi)

<http://www.kinzo-berlin.de>

家具デザイン: 事務機システム“Kinzo AIR”

未来への我々の旅は、“Kinzo AIR”への感情的な決断と共に始まった。“Kinzo AIR”(「全く新しい仕事環境」)は、以前のオフィス界の遙か先へと、スペースシャトルのように力強く発展している。それはあなたの組織理念を光の速さへと加速させる。“Kinzo AIR”の活動はNASAのようである。

11、Kixベルリン (Kix Berlin)

フランシス・サビア・ロセール、ケビン・レネ、オリビア・グレゴリ
(François-xavier Loucheur, Kevin Léné, Olivier Grégoire)

<http://www.kixberlin.com>

アクセサリ: ブックカバー/枕“No.1”

“No.1”は読書家の必須アイテムだ。これは枕であり、ブックバックである。

家、バスの中、飛行機の中、そして公園やベッドの中でも、もちろん使用可能だ。“No.1”はフレキシブルで、読書そしてその他のいかなる使用にも独自のアプローチをする。

12、ロイファー&カイヒェル (Läufer und Keichel)

ユリウス・ロイファー、マルクス・カイヒェル (Julia Läufer, Marcus Keichel)

<http://www.laeuferkeichel.de>

プロダクトデザイン: 会議椅子“Soft X”: プロトタイプ椅子“La Robe”, “Gira”

“SoftX”はすっぽりと覆いを付けられた会議/レストラン用椅子である。明らかな特徴は、背もたれと座面の間に空けられた楕円だ。それは椅子に視覚的明るさを与え、さらに通気を保証する。
製造者: マルテラ・オイ (Martela Oyj), フィンランド

13、マルク・ブラウン・デザイン (Mark Braun Design)

<http://www.markbraun.org>

プロダクトデザイン: プロトタイプ・ペンダント照明

陶器の照明“two”は、地面にも置けたり、天井そして壁のフックにも掛けることの出来る、順応性のある照明ユニットをデザインするという意図に基づく。“two”は、その位置の変化だけで違った部屋の雰囲気を作り出す。
色そして表面の仕上げにおいて、黒と白の磁器の組み合わせは陶器素材の広い可能性が際立っている。

デザイン: マルク・ブラウン (Mark Braun), 2008 - all rights reserved

14、モルフォルム (Morphorm)

マルティン・シャッツ (Martin Schatz)
<http://www.morphorm.de>

アクセサリ／ギフト：“フォーチュン・クッキー” (“Fortune Cookies”)
海苔収穫ロボット“海苔ニンジャ” (“Nori Ninja ”)
限定デザイン“韓国デザインカルチャー” (“Korea Design Kultur”)

“モルフォルム”はDMYアジアツアー2008の期間中に、3つのプロジェクトを紹介する。台湾では、定番の“チャイナ・フォーチュン・クッキー”をはじめ、日本での革新的な海苔収穫ロボット“海苔ニンジャ”を、そして最後に韓国で“韓国デザインカルチャー”出版のプレミアムを行う。

15、オスコ&ダイヒマン (Osco&Deichmann)

オリバー・ダイヒマン、ブラシウス・オスコ (Oliver Deichmann, Blasius Osco)
<http://www.oskodeichmann.com>
プロダクトデザイン：天井照明“Abys”

球体の中に差し込まれた箇所があたりをきらりと照らす。これは脊椎動物の構造により固定さ、LEDストリップでイルミネイトされている。このユニークで、且つ同時に柔順で安定した“Abys”のモジュールの構造は、空間の中で自由に光線を方向付けることが出来、またその光体の形もデザイン出来る。
製造者：クンダリニ (Kundalini)、イタリア <http://www.kundalini.it>

16、アンドレ・ペスニッカー (PvanB) (Andrea Pößnicker (PvanB))

<http://www.pvanb.de>
インテリアデザイン：壁紙“Pomp”

“Pomp”はベルギーの“ARTE”の協力のもと、アンドレ・ペスニッカーにより制作された。ワールドワイドなファッションと小売店、ホテル、エントリー・ホール、レストラン、クラブ、美術館、会議室等が、“Pomp”を利用する事により、現代的な城の雰囲気、魅力的なものへと変身した。

17、ロネン・カブシン (Ronen Kadushin)

<http://www.ronen-kadushin.com>
プロダクトデザイン／クリエイティブ・コモンズ：ボウル“Flat Knot”

ステンレスをレーザーカットし、手作業で曲げられたこの“Flat Knot”果物ボウルは、“オープンデザイン・コレクション”の一部である。このコレクション・プロジェクトでは、設計図等がダウンロード可能で自由にコピー出来、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスに従い変更・生産が可能である。

18、ルームサファリ (Roomsafari)

<http://www.roomsafari.com>
プロダクトデザイン：コート・ラック“Lean On”
コート・ハンガー“Triangle”
傘立て“Lucky Clover”

コート・ラック“Lean On”
整理整頓を簡単にするためのものである。固定器具やドリルを必要とする事なく、全ての壁にもたせかける事が出来る。



素材:クルミの木、曇り加工アルミニウム

コート・ハンガー“Triangle”

とてもシンプルなハンガーで、全てのコート・ラックにとっての音楽の友となる。

素材:曇り加工アルミニウム

傘立て“Lucky Clover”

幸運のモチーフの傘立てである。大きな傘にも、小さな傘にもどうぞ。

素材:曇り加工アルミニウム(スタンド部分)、6種類のフレッシュカラー・プラスチック(エンドレス・ループ部分)

お問い合わせ:

プレス関連のお問い合わせ、印刷用画像など

press@dmy-berlin.com

DMY Berlin GmbH & Co KG

Am Flutgraben 3

12435 Berlin, Germany

phone +49. (0)30. 53 21 31 28

fax +49. (0)30. 53 21 31 28

www.dmy-berlin.com

